

# 2010 年度学習・教育支援プロジェクト活動計画

プロジェクトリーダー 坂本 旬

## 1. CLE2010 の理念の広報活動

CLE2010 の理念であるアクティブ・ラーニングおよびコラボレイティブ・ラーニングを全学的に共有するために、フォーラムの開催やパンフレット等の制作を通して、広報活動を行う。

これに際して次の点に留意する。

- ①学習環境支援センター、とりわけ大学図書館や学生センターとの協力して進める。
- ②学生参加の方策を進める。
- ③新しい授業支援システムの利用を推進する。
- ④55/58 年館改築にあたっては、CLE2011 の理念が反映されるものとする。

上記の目的のために学習環境支援センターと共催で法政大学 FD フォーラムを開催する。

テーマ 法政の「学び」を変える ～アクティブ・ラーニング～

日程 12 月 11 日

内容は以下のとおり。

図書館 ラーニングコモンズ

FD 推進センター CLE2011 および先進的授業の紹介

携帯と WiFi、クリッカーを使った実践の報告等

## 2. 法政大学オープンコースウェアの推進

今年度から始まった大学オープンコースウェアをよりいっそう全学に広げると同時に、オープンコースウェアを FD に活用する方策を検討する。

- ①通教のコンテンツを流用する。
- ②自己点検の指標に入れる。
- ③アドバイザーボード会議のボードメンバーに積極的に勧めてもらう。  
(必要ならばボードメンバー向けのプレゼンを行う)

## 3. 教育学習支援活動への学生参加の推進

教育学習支援活動に対する学生参加を勧めるために、アンケートの実施や学生との対話の場の創設を進める。方法については別途検討する。

※具体的には、図書館サポーター、学習アドバイザー、学生センターの学生スタッフ（ピアサポーター）、TA、ノートテイカー、授業アシスタントなどから希望者を募って、常設の FD 学生委員会を設置するなどの方法が考えられる。

以上